RITSUMEIKAN

RICEBALL SEMINAR

ライスボールセミナー

2018. 10

英語発表月　同時通訳有り！

Presentation in English (simultaneous interpretation)

【日時】10 月火曜日 /12:20-12:50

【会場】創思館 1 階カンファレンスルーム

参加費無料・おにぎり付

多数ご参加いただいた場合、おにぎりの品切れ、および入場制限が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。

vol.11 10/16 tue.

体からのアフェクト―日本の暗黒舞踏を事例に

How Affect Bodies : focusing on dance practices in Japanese Butoh

［講師］COKER Caitlin Christine（衣笠総合研究機構 専門研究員）　［受入教員］DE ANTONI Andrea（国際関係学部　准教授）

vol.12 10/23 tue.

批判的な人間の安全保障学とストレスからの解放―カンボジアでの国連（1991-1993）

Critical Human Security Studies and the Emancipation from Stress : The UN in Cambodia (1991―1993)

［講師］MALAI Andrei（国際関係研究科　博士課程後期課程 2 回生）［指導教員］足立 研幾（国際関係学部　教授）

vol.13 10/30 tue.

トラウマと政治的暴力からみた人間性、そのメンタルヘルスへの応用

Humanity seen through Trauma and Political Violence : Application to Mental Health

［講師］TAJAN Nicolas Pierre（衣笠総合研究機構 専門研究員）　［受入教員］美馬 達哉（先端総合学術研究科　教授）

“大学ではどんな研究が行われているのだろう？”と思ったことはありませんか？
ライスボールセミナーは、お昼の休み時間におにぎりを食べながら、若手研究者による研究発表を聞いて、自由にディスカッションを楽しむセミナーです。学生でも教職員でも、どなたでも気軽に参加していただけます。お昼のちょっとした空き時間に、是非のぞいてみてください。お茶やおにぎりをご用意してお待ちしています！

講師紹介

COKER Caitlin Christine（衣笠総合研究機構 専門研究員）

写真：ハヤシハジメ

体からのアフェクト―日本の暗黒舞踏を事例に

How Affect Bodies : focusing on dance practices in Japanese Butoh

- **専門分野**　文化人類学、舞踊研究
- **研究者の道に進んだきっかけ**　大学時代に舞踊人類学的な調査を初めて実施した際、既存の舞踊人類学の理論が舞踊の現実から離れたと感じたことから始まりました。その違和感を元に、身をもって踊りながら舞踊の実践および日々の身体と動きについて具体的かつ実証的に肉薄したいと思って研究者の道に進みました。
- **研究内容紹介**　本発表では日本の 1950 年代末に誕生した前衛的なダンス「暗黒舞踏」を事例にし、その動きを生成する過程を明らかにします。そのため、ダンス公演ではなく、伝達すなわち稽古での実践に注目します。その際、身体と周囲のモノとの関係性を考察する鍵概念として、2000 年頃から社会科学の身体論に衝撃を与えた「アフェクト理論」を紹介します。

MALAI Andrei（国際関係研究科　博士課程後期課程 2 回生）

批判的な人間の安全保障学とストレスからの解放―カンボジアでの国連（1991―1993）

Critical Human Security Studies and the Emancipation from Stress : The UN in Cambodia (1991―1993)

- **専門分野**　国際関係理論と社会心理学
- **研究者の道に進んだきっかけ**　私の意見では、国際関係の研究は決して終わらないパズルです。間違った答えがなく、論理的な遊びです。そんな研究は交互的な知識の創造と反論です。
- **研究内容紹介**　ウェールズ学派の研究方法で、カンボジアでの国連の活動と国連の人間解放への貢献について、分析して評価するものとする。この研究で一番重要な目的は、ポストウェスタンと価値中立の両方の方法での人間の解放である。すなわち、この研究は人間の心理的ストレスに焦点をあてる。人間の心理的ストレスは、あらゆる国で最も共通するものであり、あらゆる文化的な要因にも影響されない。しかしながら、心理的幸福という目的への手段は、コンテクスト (言語、地域、文化等) に依存する。

TAJAN Nicolas Pierre（衣笠総合研究機構 専門研究員）

トラウマと政治的暴力からみた人間性、そのメンタルヘルスへの応用

Humanity seen through Trauma and Political Violence : Application to Mental Health

- **専門分野**　精神病理学、思想史、精神分析
- **研究者の道に進んだきっかけ**　子供病院のインターン心理士の時、幼児の死に直面しました。親がそのようなトラウマを抱えながらどうやって生き延びるのだろうかと思ったことから、臨床心理士になり、メンタルヘルスの歴史と人類学に貢献したいと考えました。
- **研究内容紹介**　「フランス革命期の恐怖政治から神経臨床学の誕生までの政治的暴力とトラウマ」、「政治的暴力としてのテロ事件を生き残る経験の多様性」、「政治・社会的文脈をも組み込んだ包括的なトラウマ理解の社会適用」という三つの具体的目標を設定することで、トラウマと政治的暴力から見た人間性を解明したいです。

［会　　場］ 立命館大学衣笠キャンパス　創思館 1 階　カンファレンスルーム
［日　　時］ 10 月 火曜日　12:20▶12:50

［主　　催］ 衣笠総合研究機構、 立命館グローバル・イノベーション研究機構（R-GIRO）
［お問合せ］ 衣笠リサーチオフィス　TEL: 075-465-8224 ／ FAX: 075-465-8342

イラスト提供　designed by freepik.com

RITSUMEIKAN GLOBAL INNOVATION RESEARCH ORGANIZATION R-GIRO

ライスボールセミナー、Facebookページも CHECK！
https://www.facebook.com/riceballseminar